

スライド 1

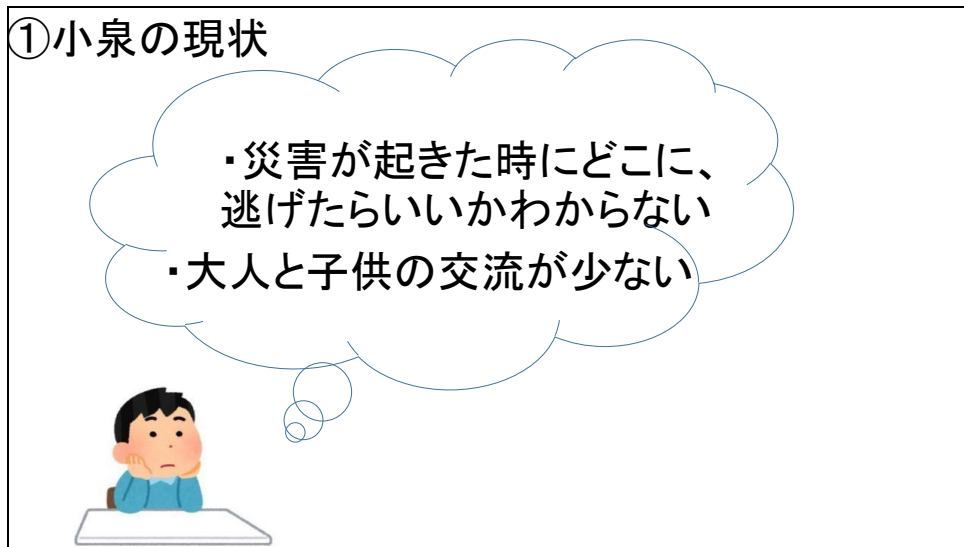
防災を生かした町づくり

これから発表を始めます。ぼくは、防災を行かした町作りについて考えました。

目次

- ①小泉の現状
- ②事例1
- ③提案

今回は、このような順番で話します。



今の小泉の現状は、避難訓練が足りていないのと、大人と子供の交流が少ないことです。

サバイバルキャンプ(埼玉県幸手市)

災害が起きたときに備えて中学生と保護者、地域住民で行う活動です。(起震車体験、救命ボート体験自炊体験、ドラム缶風呂体験をしている。)

今回は、埼玉県幸手市吉田小学校で、行われている、サバイバルキャンプについて紹介します。

スライド 5



救命ボート体験は助ける助けられる体験をすることができます。まき割り火を起こしてご飯や、風呂に必要な体験です。自炊体験、ドラム缶風呂体験は、ガスが使えないことを想定して、行う活動です。

②, 起震車を使った地震体験



震度表示です。

中の机、いす、電気が揺れて、地震体験をすることができます。

まず、写真を見てください、これは起震車です。これは、この車に乗ると地震を、体験する事ができます。震度1～7まで、体験できます。緑の、矢印は、地震表示です。もしもの時に、自分の身を、守ることができます。

③, 提案

- 小泉では、防災訓練を自治会で、行えば、災害時にも、素早く逃げることができる。
人と人とのつながりが、生まれる。
自炊を行って非常食を作る。
初めてあった人と、ご飯を食べたり遊んだりする。

すぐにげる



この問題から、ぼくは、防災訓練するということを考えました。

くわしく説明します

・防災訓練を自治会で、行えば、災害時にも、素早く逃げることができたり、人と人とのつながりが、生まれたりします。自炊を行って非常食を作ったり初めてあった人と、ご飯を食べたり遊んだりすると、仲良くなると思います。災害で死者がでない、人と人とのつながりがある小泉になってほしいです。